

子育てサポート実践中!

くるみんマーク取得企業です



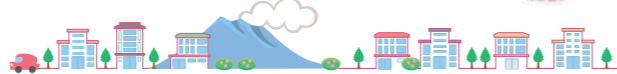
【医療法人腎愛会 上山病院・うえやま腎クリニック】
(鹿児島市宇宿)



現場風景



育児休業を経て職場復帰した
今村あゆ美さん。



鹿児島市宇宿の医療法人腎愛会上山病院・うえやま腎クリニック(上山達典理事長:職員134名)では、平成22年1月から「次世代育成支援行動計画」を策定し、現在2期目に入っています。計画策定にあたっては職員のニーズを的確に把握するために、アンケートを行うなど「スタッフが長く、無理なく働き続けられるように」と職場環境の充実に努めています。

現在、女性の育児休業取得率は100%、男性の取得者もあり、復職後は時短勤務や日勤のみの勤務など、希望の勤務スタイルを選べます。共同事業所内託児所「ぶちショコラ」利用者への補助や、毎月19日を『育児の日』にして全職員のノー残業デー、育児中の職員は有給休暇の取得を促すなど手厚い育児支援がなされています。

一年間の育児休業から復職した病棟看護師の今村あゆ美さんは、日勤のみの勤務を選択。「乳児がいると夜勤がないのは本当に助かります。周りのスタッフも早く帰れるように気を遣ってくれ、本当に働きやすい環境です。安心して子供を産んで、仕事もできます」と話していました。

用語解説



『くるみんマーク』

「次世代育成支援対策推進法」に基づき一般事業主行動計画を策定・実施した企業で雇用環境の整備について適切な一般事業主行動計画を策定したこと、その行動計画に定めた目標を達成したなどの一定の要件を満たす事業主は、鹿児島労働局長の認定を受けることができます。認定を受けると認定マーク(愛称「くるみん」)を使用し、「次世代育成支援対策に取り組んでいる企業」としてイメージアップや優秀な人材の確保などが期待できます。

『M字カーブ』

日本の女性の労働力率を年齢階級別にグラフ化したとき、30歳代を谷とし、20歳代後半と40歳代後半が山になるアルファベットのMのような形になることをいいます。これは、結婚や出産を機に労働市場から退出する女性が多く、子育てが一段落すると再び労働市場に参入するという特徴があるためです。なお、国際的にみるとアメリカやスウェーデン等の欧米先進諸国では、子育て期における就業率の低下はみられません。

編集後記

今回は、「第2次鹿児島市男女共同参画計画」を取り上げました。「男女共同参画」と聞くと難しく感じますが、まず男女に違いがあるということを確認し、その違いをお互いに認め合った上で、人としてお互いを思いやり助け合う気持ちを持つことから始まるのではないかと思います。

思いやりにあふれた男女共同参画社会の実現には、行政だけでなく市民の皆さん、事業者の皆さんが一体となった取組が必要です。できることから取り組んでみませんか?

すてっぴ vol.35

発行:鹿児島市市民局市民部男女共同参画推進課
〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目4-1 TEL099-813-0852
制作:南日本新聞開発センター

表紙について

男女共同参画社会の実現への願いとともに、青い鳥『すてっぴさん』をやさしく空へ解き放つイメージです。男女のシルエットには希望の象徴として虹をかけています。パステルタッチで、背景に錦江湾と桜島をあしらいました。

本冊子は、紙へのリサイクルに適した材料のみ用いて作成しています。

すてっぴ

vol.35

男女共同参画情報誌

発行:鹿児島市男女共同参画推進課
平成24(2012)年 秋



特集 第2次鹿児島市男女共同参画計画を策定しました

フロントインタビュー

NPO法人ファザーリング・ジャパン代表 ^{ひろき}吉田 大樹さん
「男性と子どもにとっての男女共同参画」